



國家圖書館 編

東亞同文書院 中國調查手稿叢刊

108

國家圖書館出版社

六月四日

六月三日



國家圖書館編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

108

國家圖書館出版社

第一〇八冊目錄

昭和三年（一九二八）調查報告（第二十五期生）

印度支那東京州貿易調查

印度支那東京州貿易調查

小久保貞雄

第十三卷第二編

..... 一

（佛領印度支那）銀行金融調查

（法屬印度支那）銀行金融調查

兒嶋真一郎

第十三卷第三編

..... 二九一

佛領印度支那東京ノ漆及農礦產物

法屬印度支那東京の漆及農礦產物

永井憲平

第十三卷第四編

..... 四〇九

佛領印度支那東京華僑調查

法屬印度支那東京華僑調查

丹吳恒平

第十三卷第五編

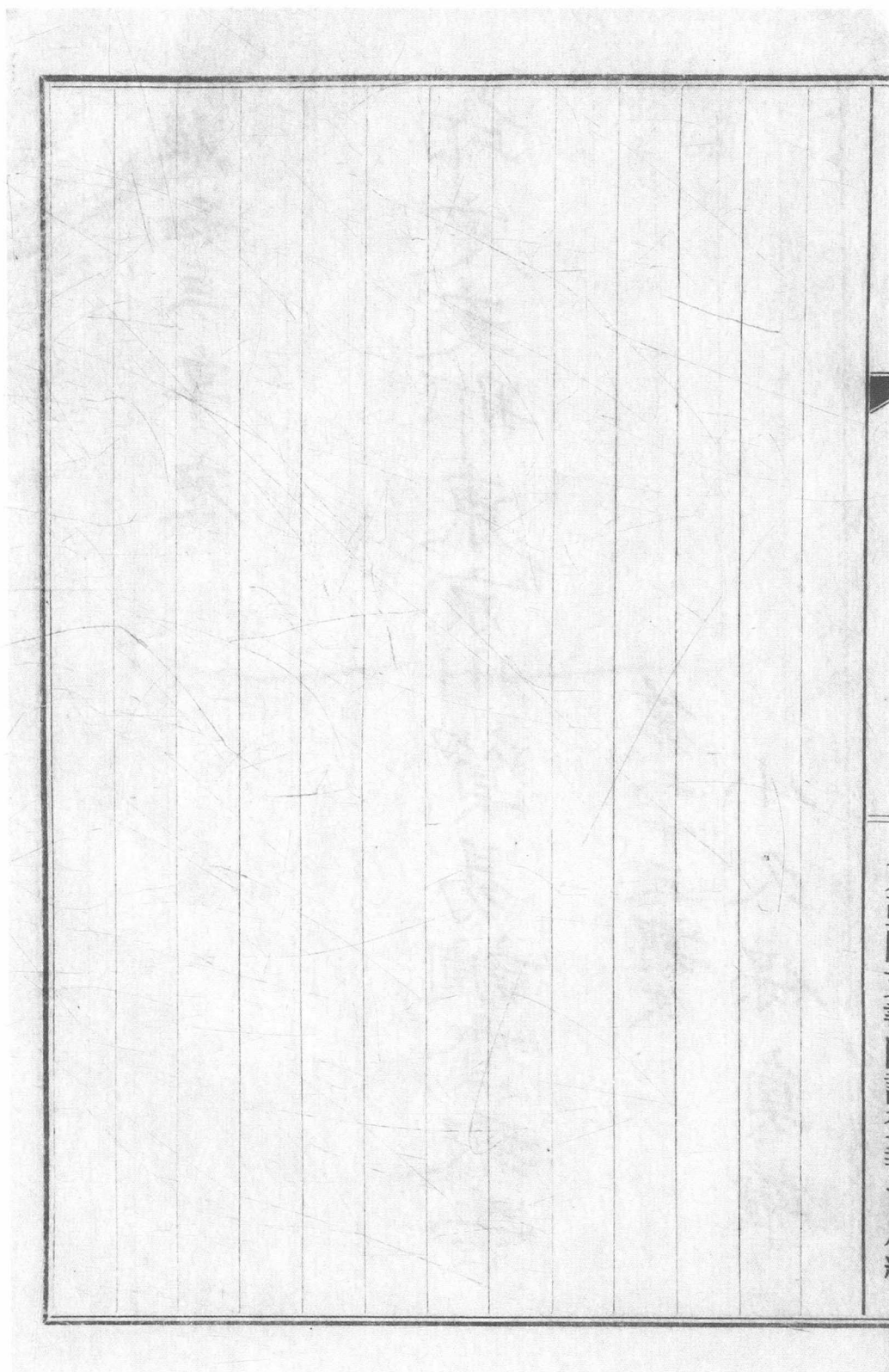
..... 六三三

昭和三年度

印度支那東京州貿易調査報告

第二十五期生

小久保貞雄



上海東亞

日本大現院

圖書部

序

日本ノ直面セル重大問題トシテ人口問題ガアル、食料
問題、コノ二ツノ問題ハ著ルシク國民ノ神經ヲ刺戟シ、各方面
識者、間ニ之ガ解決策ニ就テ研究サレ論議ハ益々沸騰シツ、ア
ル。

人口問題ニ就テハ學者、示ス近年人口増加ノ趨勢ハ一ツ年
九松萬前後ニ及フト云フ。之ニ對スル國內ノ生産力、可耕地面積ニハ
限りガアル。從テ種々多ク數、對策ガ提示セラル、シ識者ノ意見ヲ
公表スルモノサナリ、而シテ現在、所大体、傾向ハ積極的ニ對外
的海外移民、對內的殖民、商業、振興、消極的ニ生産率ノ人為
的制限等デアリテ討議ノ題目トナワケイル。

人口問題ニ關連シテ當生考ヘラル、コトハ食料ノ問題デアル。増加
シテエウ人口ヲ養フ食料、何處ニ求ムルカ。現在人口増加率ニ應ジテ

食料、自給自足、日本領土、耕地を求め得ルヤ否ヤ、未タ耕作セザル耕地面積、日本領土内、通シテ可ナリアルデアロリ、而シテ現在、於テサヘ食料、供給、海外、仰、ガ居ル状態、アルカウ、將來、国内生産、多クテ、獲得、ル事、ハ困難、デアルト思ハレル、從テ積極的ニ、食料、供給、ヲ、国外ニ、容易ニ、求め得ル方策ヲ、樹テ、消費的ニ、白米ヲ、主食スル習慣ヨリ、他ニ、主食、料、換テ、或ル程度、マテ、行、フベキ、デアル。

斯クシテ、日本、経済、局、所、其、生活、資料、ヲ、国外ヨリ、求めルヨリ、外ナリ、デアル。然ラバ、国外、ハ、何レ、土地、を、求めカ、是ハ、国防、問題、ト、關係、シテ、慎重、考慮、ヲ、要スルト、考ヘラル。現在、地球、上、ヲ、見渡シテ、モ、既ニ、十九世紀、ノ、若見、時代、ニ、漁、盡、サレ、今日、如ク、國際、關係、複雑、ヲ、来シテ、ハ、容易ニ、吾人、ノ、希望、ヲ、今、スル所、ニ、見當、ラナリ。從テ、專有、領土、新ニ、欲スル事、ハ、今日、ニ、在リ。

テハ絶望ト云ツテイ、唯吾人ハ人種關係、最も深イ友邦ト
烟携ヘテ相互扶助、締盟ニ據ルトノミガ残サレタ唯一ノ方法ヲ
ハアルマイカ。コノ意味ニ於テ東洋ニハ我等日本民族親近、
領土が未開ノマ、廣クト残サレ特ニ望ク亞細亞南方ニ繫グ
トカ出来ル。

而シテ下ニ此等、土地ト雖モ困難ト障害ニ相當ニ横ツテキル。十
九世紀ノ發見時代ニテ吾等ハ耶蘇教徒ト香料ヲ得ンガ爲メ未
レリト揚言シテ坤ニ寄セテ来タ白人ニ先鞭ヲ付ケラレキル。
而シテ人種ノ相違スル彼等ノ郷土ト餘リニ遠隔ニ過ギ加フルニ風土
ノ甚シキ變化ガ彼等ノ文化生活ニ適シナイ事等、理由ハ彼等ヲ
シテ初期ノ殖民計畫ヲ放棄シ今日ニ於テハナルカ依タル狀態
ニ配置之中ニ持テ餘シ余味、土地モ少クナイ。コノ東洋
ハ東洋人ノ東洋ヲアツテ亞細亞ノ資源ハ亞細亞人自カラノ力ニ

俟ソ開拓スルコトが最も自然ナル事が首肯サレル。

印度支那一友邦佛蘭西保護領に屬シ其令面積
日本令面積ヨリ稍大ナルモ(新領ヲ包含シタル)人口ハ僅
カニ千萬餘ヲ有スルニ過キナイ。

佛蘭西統治以來文明ノ伸張ニ文化ノ普及ニ頗ル意ヲ
用ヒ来リタル之歐洲大戰ノ創禍ニ遂ニ遠隔ノ領土統治ノ
衰達ニモ影響ヲ受ケタル印度支那一資源之徒ニモ此種
サルモ尚少カラザル状態ニ在ル。

佛蘭西當局ハ亞細亞南方ノ保護領保全ニ對シテハ
日本ニ依頼スル所一甚ダ深ク其着民族亦頗ル日本人
好感ヲ有シテ在ル。

元來日本ト安南トノ交渉ハ既ニ早ク我國天平其
初マリツララヌ地方ニ日本人遺跡今尚現存スルモノサカ

ラス内文内種ノ緊密ナル關係ヲ有シテナルデアリ、
然ルニ徳川初期、鎖國政策ハ一時兩者ノ接近支源ヲ中
断スルニ至ツタデアリ。史ヲ編ム者常ニ遺憾トスル所ニアリ。
近時日本ニ於ケル識者間ニ於テ印度支那接近ヲ説ク
者漸ク多シテ加ヘ觀察ニ研究ニ往來スルノ士頗繁トナリ兩者
ノ経済的接近ハ繁カラストスル傾向ヲ呈シテ來タ。然レテ
印度支那ノ如キ廣汎ナル國ニハ一朝一夕ニシテ容易ニ研究
調査ニ遂ゲ觀察ノ實ヲ擧グル事ハ困難アリ。特ニ經濟
關係ノ圓滑ヲ期スルニ於テハ風土人情ノ機微ヲ極ムル要カ
ル。斯ク觀ミ來レバ吾々同志今夏炎熱下ノ六十有餘日
ニ亘ル長旅行ニ於テ——假令夫が印度支那ノ一部東京州ニ
限ラレタリトハ云ヘ——隣邦ノ情勢ニ就キ親シク其ノ
ホヲ踏ミ、土人ニ接シ以テ我茅塞ヲ解キ見解ヲ廣ク

之知識ヲ深クシタル事ハ吾等今後實社會ニ出デテヨ
リ大ニ得ル所有ル事ヲ確信スル

茲ニ^{小生}院命ニヨリ調査シタ所ノモノヲアハ小冊子ニ收メ以
テ報告スル次第ナル。勿論調査トシテハ杜撰デアリ又文章
拙劣ナルカ然レモ調査ヲ自分カ能ク限リノ努力ヲ以テ、
心血ヲ注イデナシタル所、モノデアル故自分ハ喜ビテ之ヲ報告シ
諸君カ函却友好関係ノ密接ニ與テ寄與スル所幾分ナリ
トモ有ラハ私ノ最モ幸トスル所デアル

昭和三年十二月二十四日

江南之學會ニテ

小久保貞雄

印度支那東京貿易調查報告目次

序

第一章

概論

一

第二章

關稅

五

第一節

關稅制度及附隨的稅

五

第二節

通關事情

四

第三章

一般貿易狀況

五

第一節

輸入貿易

六

第一款

一般輸入貿易

六

第二款

輸入特別貿易

六

第三款

主要輸入貨物

七

第四款

輸入數量變動最甚之主要商品

八

第五款

最重要輸入品之過去十年間消長

二

第二節

輸出貿易

一二七

第一款

一般輸出貿易

一二七

第二款

輸出特別貿易

一三九

第三款

主要輸出貨物

一三三

第四款

輸出數量變動甚大商品

一五八

第五款

主要輸出品各論

一六三

付(參考)

鐵道輸送—海防航渠群

一九二

第四章

通過貿易

一九五

第五章

沿岸貿易

二二七

第六章

對日貿易

二四一

第一節

對日貿易下關稅問題

二四一

第二節

印度支那通過關稅事(日雲貿易關係)

二四六

第三節

對日貿易現況

二五三

中七章終

論

第四節

東京（及印度支那）貿易發展策

二五八

第五節

本邦品輸入貿易取引上注意点と対策

二七一

第六節

取引上必要之研究問題

二七三

第拾參卷佛領印度支那東京經濟調查班
第二編 印度支那東京洲貿易調查

二七六

左ニ本調査ニ関シ得ル所多ク参考資料ニ要ス。

佛領印度支那經濟事情

大阪市役所產業課調査課

河内見本市參加ニ关スル報告概要

商工會議所聯合會

第一回貿易會議準備資料 第二

外務省通商局第一課

臺灣時報

台灣總督府

海外商報

外務省

Statistiques Commerciales Année 1926.

Chambre de Commerce

du Port de Haiphong.

Géographie de l'Indochine (de Kontin)

J. Bouault.

（本調査ニ對シ）

將ニ旅行中多大ノ援助ヲ與ヘシタ。海防、横山正修氏、孫田洋行、岡眼氏、三井

物產出張員小林氏、華南銀行坂本氏、坂崎氏及河内官崎氏等深甚ニ謝意ヲ蒙ス。

佛領印度支那東京貿易狀況

第一章 概論

佛領印度支那が初メニ海外諸國ト通商スルニ至リニハ佛領トナツタ一八八四年以後ノコトデアツテ、其以前ハ一ノ開港場トテ無ク單ニ小舟、避難港程度モカニ三存在シタリ也。又、精々近接支那港ト交通ニシテ千々位デアル。然ルニ佛國ニ當テテカラハ當初ハ佛領駐在、佛國官吏及軍隊ノ日用品ヲ輸入スル程度ニアツタカ、漸次佛本國及其殖民地ヲ初メ、欧米各國並ニ東洋諸國トノ貿易ノ數甚ニ遂ニ今日ノ隆盛ヲ見ルニ至ツタハデアル。

由來印度支那ハ天恵極メニ豊カゾアツテ農、牧、林、鑛、水産等凡ル方面、物資ヲ多量ニ產出シ、逐年一其輸出額シ